

基本方針 1 本との出会いを通して、市民の課題解決を支援する図書館 一資料・情報提供機能

○評価項目 ① 貸出と閲覧サービスの充実

自己評価	B
------	---

外部評価	
------	--

■各委員の評価

委員名	評価
	B
	B
	B
	B
	B
	B
	B
	B
	B

A：目標を完全に達成し、想定以上の成果があった。
 B：目標をおおむね達成し、想定どおりの成果があった。
 C：目標が達成できず、想定以下の成果であった。
 D：着手できなかった。

評価指標	取組の方向	R6年度目標	R6年度実績
ア：人口一人当たりの貸出冊数(たちばな号含む)	選書、PRの工夫	5.00	4.77
イ：予約数	PRの工夫	35,000	40,983
ウ：大活字本、点字資料等の受入冊数	積極的な選書	40	55
エ：外国語書籍の受入冊数	積極的な選書	37	62
オ：実利用者数	選書の工夫	10,900	10,105
カ：新規利用登録者数	選書、PRの工夫	1,200	1,385
キ：利用者アンケート9-②の平均(読みたい本)	選書の工夫	3.5	3.6
ク：資料受入冊数	予算の確保、適切な選書	10,000	9,663
ケ：たちばな号の利用者数	駐車場所(ステーション)の位置検討	4,000	3,619
コ：たちばな号の貸出冊数	選書の工夫	27,000	22,576

○取組予定

利用者の増加や満足度の向上につながるよう、各種資料の充実およびテーマ展・おはなし会などの企画の充実のほか、図書館に関する広報に努める。

○取組結果

- ・人口一人当たりの貸出冊数は、概ね目標に近づく結果となり、昨年度の実績値より増加した。
- ・予約数、新規利用登録者は、目標値を大きく上回った。
- ・大活字本、外国語書籍の受入について、積極的に選書を行った。大活字本・開架配架数を増冊した。
- ・たちばな号の利用者数、貸出冊数については、一定の利用者には利用していただいているが、実績値は目標値を下回る結果となった。

○成果と課題

- ・人口一人当たりの貸出冊数は目標値に達していない。引き続き状況を分析し、対策を講じる必要がある。

- ・ たちばな号の駐車場所の検討や PR など増加に繋がる取組みが必要である。

■図書館協議会からの意見

- ・ コロナ以後の様々な変化のなかで、目標数値の設定の課題はあるにしても、たちばな号関係以外はほぼ目標を達成していると思えますので、B とします。
- ・ 資料受け入れ冊数が過去 3 年間の平均 13,705 冊の約 70.5%、9,663 冊に減少。財政状況の厳しさの中でも、資料費の確保は維持されるべきだ。
- ・ たちばな号の利用減の傾向が続いていることが気になります。ステーションの位置検討については、どのように進めておられるのでしょうか。
- ・ 予約数や新規利用登録者数の実績が伸びているというのは、関心の高さの表れだと思う。
- ・ 実利用者数増加への工夫が必要。
- ・ 来館者からの問い合わせや働きかけを待つのではなく、カウンターから出て積極的に来館者に関わるのが大切だと思います。ファンを増やす努力を。

基本方針 1 本との出会いを通して、市民の課題解決を支援する図書館 一資料・情報提供機能

○評価項目 ② レファレンスサービスの充実

自己評価	A
------	---

外部評価	
------	--

■各委員の評価

委員名	評価
	A
	A
	A
	A
	A
	A
	A
	A
	A
	A

A：目標を完全に達成し、想定以上の成果があった。
 B：目標をおおむね達成し、想定どおりの成果があった。
 C：目標が達成できず、想定以下の成果であった。
 D：着手できなかった。

評価指標	取組の方向	R6年度目標	R6年度実績
ア：レファレンスサービスの件数	PRの工夫	190	287
イ：職員研修の実施回数	職員研修の充実	3	11
ウ：外部研修（県立図書館等主催を含む）の参加者数（延べ人数）	各種研修への積極的な参加	15	21

○取組予定

レファレンスはその場で行い、時間を要するものは改めて回答するなど工夫しながら対応する。

職員研修は、休館日を利用して実施する。

外部研修への参加者数は予算と人員配置の制約もあるため、可能な範囲で参加者数を維持し、自己研鑽および伝達研修を行うよう取り組む。

○取組結果

- ・レファレンスサービスの件数は、令和5年度から書架案内等の軽易なもの以外は全て計測することに変更したことから、令和6年度も実績値は目標値よりも上がった。
- ・職員研修は、レファレンススキルを高めるための研修を実施することに心がけ、取り組むことができた。
- ・外部研修への参加は、WEB研修には複数の職員が受講するなど、積極的な参加に繋がった。

○成果と課題

- ・毎月第4木曜日の休館日を利用し、職員研修を実施している。引き続き職員のスキルアップを図るための研修の充実に努めていく。
- ・外部研修については、WEB研修と通常通りの研修の併用が増加していることから、こうした機会を積極的に活用し、職員のスキルアップに繋げたい。
- ・様々なレファレンスに対応できるように、レファレンスツールの整備や資料の充実に努める。

■図書館協議会からの意見

- ・レファレンスサービスの件数の把握の方法を変えたということもあったということではあるが、意識してカウントすること自体がレファレンスサービスの向上につながるのではないでしょう

か。研修の充実がこれからのレファレンスサービスの向上にもつながって欲しいと思います。

- ・レファレンスサービスの目標を上回る実績がありました。これは利用者が図書館職員の皆さんを頼りにされているという数字だと思います。6年度同様に研修にお励みください。
- ・専任司書の大幅な増員が功を奏したと考える。職員研修の充実、各種研修の参加の増だけでなく、平常の業務の中で、積極的な意見交流ができた成果が現れたと考える。今後ともこの方向は貫いてもらいたい。
- ・職員研修への積極的な取組を高く評価したいです。
- ・レファレンスサービスの質の向上を実感した。
- ・WEB 研修への積極的参加等、職員研修を通してスキルアップに努められた。
- ・目標をはるかに超える実績ですばらしいと思います。
- ・レファレンスサービスの件数のみならず、その満足度についてもフィードバックを受けサービス向上に生かしていくことが大切だと思います。
- ・職員の研修は重要です。WEB 研修は多いに利用し、研鑽をつんでいただきたい。

基本方針 1 本との出会いを通して、市民の課題解決を支援する図書館 一資料・情報提供機能

○評価項目 ③ 暮らしに役立つ情報の提供

自己評価	B
------	---

外部評価	
------	--

■各委員の評価

委員名	評価
	B
	A
	B
	B
	B
	B
	B
	A
	B

A：目標を完全に達成し、想定以上の成果があった。
 B：目標をおおむね達成し、想定どおりの成果があった。
 C：目標が達成できず、想定以下の成果であった。
 D：着手できなかった。

評価指標	取組の方向	R6年度目標	R6年度実績
ア：テーマ展示の実施回数	PRの工夫・展示コーナーの充実	43	43
イ：中高生の利用者数(実利用者数)	魅力的なテーマ展示の実施	635	626

○取組予定

テーマ展示実施回数は、テーマに即した展示期間を設定しながら開催する。
 中高生の利用者数は、中高生にとって魅力ある図書の受入れや展示方法の工夫などを行う。

○取組結果

- ・テーマ展示は、担当者それぞれがテーマを決め展示する「司書のひみつの本棚」、作家等の追悼展示、時事問題の展示を積極的かつタイムリーに実施することで、日頃、見過ごされている本も紹介することができ、利用者に手に取ってもらうきっかけとなり、貸出に繋がった。
- ・中高生の利用者数は、概ね目標を達成することができた。

○成果と課題

- ・今後も時節を捉えたテーマ展示の充実や、他課と連携など、来館につながる特設展示の工夫を検討していく。
- ・中高生の利用に繋げていくために、時代のニーズや若者世代の実情を踏まえ、本に興味、関心を持ってもらえるよう、YAコーナーなどの充実や選書に工夫を凝らし、魅力ある蔵書構成に努める。

■図書館協議会からの意見

- ・中高生の利用者数については、ここ数年、ほぼ令和6年度の目標を達成できている。今後目標数値を上げていく工夫を検討していただきたい。
- ・限りあるスペースの中ですが、YAコーナーの位置や本の展示にさらに工夫をお願いします。
- ・図書館職員のがんばりの成果が所蔵資料の閲覧機会の増加につながれたのは評価したい。
- ・YAの利用増に向けては、特に高校生に向けては、各高校の図書委員、新聞部員の取材を受ける。図書館の情報を積極的に提供など、図書館から打って出る対策を期待する。

- ・評価指標イについて、目標には届かなかったものの、この5年間 ほぼ一定の数字を維持していることそれ自体大きな成果だと思います。
- ・中高生利用者増加への工夫はさらに必要。
- ・コロナ禍以降、中央通路が広くとられてきたが、コロナも終息し落ちついたので、テーマ展示を中央へもってくる等多くの人目にふれる工夫が必要かと思います。市役所の入口に広いスペースがあり、それを活用してのテーマ展示などおこない、普段図書館へ足をはこばない人に興味をもち、足をはこんでもらうきっかけにしてはどうか。
- ・学校と連携して司書が学校でブックトークをする機会をぜひつくってほしい。

基本方針 1 本との出会いを通して、市民の課題解決を支援する図書館 一資料・情報提供機能

○評価項目 ④ インターネットによる情報の発信

自己評価	B
------	---

外部評価	
------	--

■各委員の評価

委員名	評価
	B
	B
	B
	B
	B
	B
	B
	B
	B

A：目標を完全に達成し、想定以上の成果があった。
 B：目標をおおむね達成し、想定どおりの成果があった。
 C：目標が達成できず、想定以下の成果であった。
 D：着手できなかった。

評価指標	取組の方向	R6年度目標	R6年度実績
ア：お知らせ、行事案内のホームページ掲載回数	積極的な情報発信	120	83
イ：広報紙の掲載回数	積極的な情報発信	22	29
ウ：報道機関情報提供の回数	積極的な情報発信	16	19

○取組予定

ホームページについては、市民が知りたい情報や来館につながる情報をタイムリーに提供するようにする。

広報ひこね等へ行事案内などの掲載に努める。

報道機関へは、広く市民に周知したい情報の積極的な提供に努める。

○取組結果

- ・お知らせ、行事案内などを紹介するホームページ掲載回数については、目標値を下回った。原因として、令和6年10月から、彦根市のホームページへの統合により、これまでの図書館ホームページと市ホームページの両方に掲載していた内容の一本化により数値が減少したことや、施設の維持管理に関するお知らせなどの掲載が少なかったことが挙げられる。一方で、図書館だよりやおはなし会の情報などについては、これまでと同様に幅広く周知することに努めた。
- ・広報紙への掲載は、たちばな号の運行、図書館でのおはなし会、舟橋聖一顕彰青年文学賞など、ホームページを見られない方に対しても、お知らせすることに努めた。

○成果と課題

- ・広報紙への掲載、報道機関への情報提供、ホームページの掲載などを通じて、図書館に関する情報の迅速な情報提供に努める。
- ・ホームページは見やすく、親しみやすいものとなるよう引き続き検討を進める。

■図書館協議会からの意見

- ・図書館の利用促進のため、HPと広報紙での情報発信を内容・回数の両面での充実を図って下さい。
- ・情報発信はもちろん大切なことですが、それをどれだけの人が見て、結果、図書館の利用につなが

がったのか、というあたりの検証が難しいなあと、これは自館での経験を踏まえての感想です。

- ・情報の発信は、ホームページや広報紙の掲載とともに、SNS の活用を検討していくことも必要かもしれない。
- ・ホームページの提供は今後ますます必要。そのための工夫も。
- ・ホームページはイベントの説明が文字でのみ掲載されているが、写真も多用し、図書館へいって見たくなるしかけが必要ではないかと思う。また、ホームページだけでなく、インスタグラムで気軽な発信をして人が足を運びたくなるようなしかけをしてはどうか。（守山市立図書館のインスタグラム参考）

基本方針 2 歴史あるまちとして、郷土の文化を守り伝える図書館 一資料収集・保存・支援機能

○評価項目 ① 資料収集・受入・整理

自己評価	A
------	---

外部評価	
------	--

■各委員の評価

委員名	評価
	A
	A
	A
	A
	A
	A
	A
	B
	A

A：目標を完全に達成し、想定以上の成果があった。
 B：目標をおおむね達成し、想定どおりの成果があった。
 C：目標が達成できず、想定以下の成果であった。
 D：着手できなかった。

評価指標	取組の方向	R6年度目標	R6年度実績
ア：郷土資料の受入冊数	適切な選書	320	383

○取組予定

郷土に関する資料の選書や受入れを行う。

○取組結果

- ・郷土資料の積極的な購入と寄贈資料の受入により、受入冊数が、目標値を上回った。

○成果と課題

- ・郷土に関する資料の購入や寄贈による受入を今後も積極的に行う。併せて、保存・管理についても、次代に繋がる対応を図っていく必要がある。

■図書館協議会からの意見

- ・ここ数年、目標数値を大きく上回っており、目標数値の見直しを検討してもよい時期かと思いました。
- ・郷土資料の範ちゅうが判然としない。現在、彦根市全域自治会、連合自治会、学区連合自治会発行も貴重な資料。身近な資料は来館者にもコーナーの設置など目に留まり易い。これも郷土の文化を守り伝える図書館の役目。
- ・目標は上回っていますが、数値としてはここ5年で最も少ないことが気になります。継続的な資料整備を進めていただきますようお願いします。
- ・郷土資料の充実とその有効活用を継続していくことが大切であると思います。
- ・郷土資料を活用したテーマ展示を。

基本方針 2 歴史あるまちとして、郷土の文化を守り伝える図書館 一資料収集・保存・支援機能

○評価項目 ② 資料の保存・活用

自己評価	C
------	---

外部評価	
------	--

■各委員の評価

委員名	評価
	B
	B
	C
	C
	C
	C
	C
	C
	C
	C

A：目標を完全に達成し、想定以上の成果があった。
 B：目標をおおむね達成し、想定どおりの成果があった。
 C：目標が達成できず、想定以下の成果であった。
 D：着手できなかった。

評価指標	取組の方向	R6年度目標	R6年度実績
ア：資料の展示・公開回数	資料の整理	2	3
イ：古文書・貴重資料の調査・研究の対応回数	職員研修の充実	59	34
ウ：舟橋聖一顕彰青年文学賞の応募数	PRの工夫	45	32

○取組予定

資料展示を行うために、所蔵資料の整理を進めるとともに、専門的な知識を有する文化財課職員との連携を図る。

舟橋聖一顕彰青年文学賞への応募数の増加を図るため、従来の広報のほか、市X(旧ツイッター)や応募期間に合わせたテーマ展の開催など、広報の方法をひろげる。

○取組結果

- ・ 故舟橋聖一氏の顕彰を図るため、舟橋聖一記念文庫前のカウンターに展示ケースを設置し、舟橋氏に所縁のある資料の常設展示を行った。
- ・ 古文書・貴重資料の調査・研究の対応回数の減少は、所蔵資料の閲覧等の申請者が少なかったことによる。
- ・ 舟橋聖一顕彰青年文学賞の応募数は、SNS等を活用しPRに努めるなど、可能な限り応募数を増やすための取組みを行ったが、目標には至らなかった。

○成果と課題

- ・ 資料の展示、公開には、その前提として、資料の整理と適切な保存管理が必要である。改訂後の「彦根市図書館整備基本計画」に基づき、現図書館を図書館サービスの提供と歴史・郷土資料館的機能を併せ持った施設として、整備していく必要がある。
- ・ 舟橋聖一顕彰青年文学賞の応募数については、引き続き効果的な広報に努める。また、名誉市民である故舟橋聖一氏の功績を広く周知するための取組みが必要である。

■図書館協議会からの意見

- ・ この評価項目を充実していくには、図書館として整備すべきことも多々あるとは思いますが、今後、充実を計られることを期待します。

- ・資料の保存・活用の項は、今の状況では自己評価はC。市民からは、何をしてるんだの声しか聞かれない。専門司書の配置のみではなく、図書館に専門部署（例えば史料編さん室など）を立ち上げ、将来、北部館資料館的性格をもつ図書館の体裁を整えてゆくべきだ。
- ・「成果と課題」に書いておられる通りだと思います。
- ・舟橋聖一氏の常設展示、SNS 活用での PR などの取組に努められた。
- ・「専門的な知識」よりも、当図書館には、「このような蔵本が有りますよ」と広く周知する工夫が必要では。
- ・市の財政が厳しい中、青年文学賞を続けることについての検討があつてよいと思う。

基本方針 3 子どもの健やかな成長と豊かな心を育てる図書館 ー学びの場の提供

○評価項目 ① 子どもの読書活動の推進

自己評価	B
------	---

外部評価	
------	--

■各委員の評価

委員名	評価
	B
	B
	B
	B
	B
	B
	B
	B
	B

A：目標を完全に達成し、想定以上の成果があった。
 B：目標をおおむね達成し、想定どおりの成果があった。
 C：目標が達成できず、想定以下の成果であった。
 D：着手できなかった。

評価指標	取組の方向	R6年度目標	R6年度実績
ア：学校への団体貸し出し数(小・中・高)	学校へのPR、貸し出しリストの作成	2,000	1,420
イ：読み聞かせ、ブックトークの参加者数	実施の検討・準備	320	361
ウ：未就学児の登録者数(6歳以下)	啓発活動の推進	720	665

○取組予定

学校と協議を行う機会などを捉え、団体貸出の積極的な活用を促す。
 館内やホームページ等での開催案内を行う。
 読み聞かせ会などの機会を捉え、登録者数の増加に努める。

○取組結果

- ・学校への団体貸出数の実績については、団体貸出を行う学校の利用が若干減少していることから、利用冊数の減少となっている。
- ・少子化の影響も考えられるが、未就学児の登録者数が、減少していつている。

○成果と課題

- ・読み聞かせボランティア等との連携を深めていく必要がある。
- ・おはなし会などの機会を捉え、未就学児の登録者の増加に努める。
- ・子どもの発達段階に応じた本の紹介の仕方を工夫し、登録者の増加に繋げる。
- ・「ひよこタイム」や「おまかせセット」をPRし、登録者数に繋げていきたい。
- ・学校への団体貸出数については、利用状況の実情を正しく捉え、公立図書館として対応できることを模索する必要がある。

■図書館協議会からの意見

- ・少子化の影響を免れない項目だとは思いますが、その分利用者の掘り起こしに努力していただきたいと思います。学校・学校図書館との連携については、そのあり方について検討していく必要があるかと思っています。
- ・おはなし会をこどもの図書コーナーで行うことはできないでしょうか。

- ・小・中学生の本離れ、読書離れを防ぐためにも、是非小学校高学年向けの図書館見学を実施して欲しい。（教育委員会にも提起して欲しい）
- ・子どもの読書活動推進には、学校図書館との連携が必須。学校司書（読書活動支援員）、図書主任との情報交流がさらに進められるとよい。
- ・各学校に作ってくださっている団体貸出カード（50冊）を、もっと活用できるよう、図書主任会、校長会でも呼びかけていきます。
- ・学校と連携し、司書が学校に出向きブックトーク（特に本離れのすすむ高学年）する機会をつくってはどうか。児童研などにまかさず司書が力をつけることが大切。

基本方針 3 子どもの健やかな成長と豊かな心を育てる図書館 一学びの場の提供

○評価項目 ② 子育て関係機関・団体との連携

自己評価	B
------	---

外部評価	
------	--

■各委員の評価

委員名	評価
	B
	B
	B
	B
	B
	B
	B
	B
	B

A：目標を完全に達成し、想定以上の成果があった。
 B：目標をおおむね達成し、想定どおりの成果があった。
 C：目標が達成できず、想定以下の成果であった。
 D：着手できなかった。

評価指標	取組の方向	R6年度目標	R6年度実績
ア：読み聞かせ参加ボランティア人数(延べ人数)	ボランティアの支援	100	121
イ：乳幼児と保護者への読書啓発(健診等での啓発資料配布人数)	啓発活動の推進	750	653

○取組予定

読み聞かせボランティアとの連携、支援により、読書推進に努める。
 乳幼児とその保護者に対し読み聞かせの大切さを伝える。

○取組結果

- ・くすのきセンターの生後10か月健康診査の実施日に、乳幼児と保護者を対象に啓発資料の配布を行った。しかし、少子化により、対象となる乳幼児が減少していつていることから、目標には至らなかった。

○成果と課題

- ・今後も読み聞かせボランティアとの協働を図る。
- ・引き続き、読み聞かせの大切さやおはなし会の案内、ひよこタイム、図書貸出券の新規登録など、生後10か月健康診査時に図書館の利用案内を配布し、啓発を行う。

■図書館協議会からの意見

- ・少子化の影響による数値の減少はやむをえないと思いますが、その分、内容を充実することで、子どもの読書活動の推進につなげていただければと思います。
- ・読み聞かせボランティアの育成の取り組みが必要ではないか。
- ・よく見かける図書館内でのおはなしコーナー(部屋)は本に囲まれたスペースにある。その意義を大切にしたい。
- ・評価指標イについては、取組結果で書いていただいているように、館の努力だけでは如何ともしがたい部分があるのでは。
- ・子どもたちにとって、読み聞かせボランティアとの出会いは、とても貴重なもの。ボランティア支援のさらなる充実を

- ・ボランティア養成講座が必要
- ・読み聞かせの基本を学ぶ場をぜひつくってほしい。

基本方針 4 心のやすらぎを与える居心地の良い図書館 一滞在型図書館の機能

○評価項目 ① やすらぎのある図書館づくり

自己評価	B
------	---

外部評価	
------	--

■各委員の評価

委員名	評価
	A
	A
	B
	B
	A
	A
	B
	A
	B

A：目標を完全に達成し、想定以上の成果があった。
 B：目標をおおむね達成し、想定どおりの成果があった。
 C：目標が達成できず、想定以下の成果であった。
 D：着手できなかった。

評価指標	取組の方向	R6年度目標	R6年度実績
ア：利用者アンケート9-③(居心地)の平均点	居心地の良い空間づくり	3.4	3.5
イ：利用者アンケート9-④(職員の態度)の平均点	接遇の向上	4.3	4.4

○取組予定

利用し易い環境づくりなどに努める。
 接遇の研修を行い、利用者満足度の高い対応ができるようにする。

○取組結果

- ・ 毎日、開館(10 時)までに、開架室の整理を行い、利用者が利用しやすい書棚となるよう努めた。
- ・ カウンターや電話での対応では、丁寧で正確な対応に努めた。
- ・ 時節に応じた図書、司書のおすすめ本のコーナー、壁面飾りなどにより、居心地の良い図書館づくりに努めた。
- ・ 書架サインの作成や、館内の書棚の配置の変更により、利用者の利便性を図ることに努めた。
- ・ 館内での各種お知らせやサインを、見やすく、分かりやすくすることに心がけた。

○成果と課題

- ・ 開架室が利用者にとって図書を探しやすい書棚になるよう、取り組む。
- ・ 利用者の満足度を高めるため、より一層の CS 向上に取り組む。

■図書館協議会からの意見

- ・ 現在の図書館の中での評価としては、充分であると思います。数値的にも達成しているので A としました。
- ・ いつも丁寧な対応をされている姿を見せていただいています。
- ・ 各特設コーナーの拡充をお願いします。
- ・ 評価指標アについては、毎年実績値が上がっており、継続的な取組の成果が出ていると思います。
- ・ 実績が目標を上回っている。図書館という空間に心地良さを感じる人が増加傾向。書架、コーナー、壁面飾りなど、工夫して取り組まれた成果だと思う。

・ 1-①、1-③に記載したコメントと同じ。

（1-①のコメント・・・来館者からの問い合わせや働きかけを待つのではなく、カウンターから出て積極的に来館者に関わることが大切だと思います。ファンを増やす努力を。）

（1-③のコメント・・・コロナ禍以降、中央通路が広くとられてきたが、コロナも終息し落ちついたので、テーマ展示を中央へもってくる等多くの人目にふれる工夫が必要かと思います。市役所の入口に広いスペースがあり、それを活用してのテーマ展示などおこない、普段図書館へ足をはこばない人に興味をもち、足をはこんでもらうきっかけにしてはどうか。学校と連携して司書が学校でブックトークをする機会をぜひつくってほしい。）

基本方針 4 心のやすらぎを与える居心地の良い図書館 一滞在型図書館の機能

○評価項目 ② 居場所としての図書館づくり

自己評価	C
------	---

外部評価	
------	--

■各委員の評価

委員名	評価
	B
	B
	C
	C
	C
	C
	B
	C

A：目標を完全に達成し、想定以上の成果があった。
 B：目標をおおむね達成し、想定どおりの成果があった。
 C：目標が達成できず、想定以下の成果であった。
 D：着手できなかった。

評価指標	取組の方向	R6年度目標	R6年度実績
ア：利用者アンケート 7(滞在時間)の平均	滞在時間が延びる工夫	31.0	32.6
イ：来館者数	魅力ある図書館づくり・利用者の開拓	210,000	152,006

○取組予定

テーマ展示の開催など館内に回遊性を持たせた開架スペースとするなど、ゆっくりと図書を選べる環境づくりに努める。

来館者数は、主催事業やテーマ展示のPRに努めるほか、資料の充実に努める。

○取組結果

・来館者数は、目標値を下回る結果となった。金亀公園駐車場の改修工事に伴い、駐車場の利用場所が制限された時期もあり、来館者数に影響があったことが考えられる。

○成果と課題

- ・企画展示やおはなし会を通して、利用者に関心を持っていただける本を紹介し、滞在時間の確保に努める。
- ・来館者数については、主催事業やテーマ展示のPR、資料の充実と併せて、利用者の開拓に向けた取組を検討していく必要がある。
- ・図書館の大規模改修工事を行ったことで、以前よりも明るくなり、トイレも使いやすくなった等のご意見をいただいている。

■図書館協議会からの意見

- ・目標数値を下げたにもかかわらず、目標を大きく下回ったことは残念です。改善のために、その原因をもう少し探る必要があるのではないのでしょうか。
- ・駐車場の関係から、来館しても時間が気になり、本を楽しむことは難しくなったのでは？
- ・狭いスペースながら、閲覧座席の工夫は良くなされている。
- ・駐車場の配置、有料化に大いに問題あり。図書館利用者には玄関正面辺りに集中し、利用3時間は無料。(アンケート結果P3、7項の表参照)
- ・評価指標イについては、取組結果のような事情があれば一定やむを得ないかとも思います。アは

毎年伸びており、この傾向を維持していただければと。

- ・トイレが明るくきれいになったことで、安心感というか…落ちつく。
- ・来館者数については、館内・外の環境や蔵本内容を広く周知することが必要では。

基本方針 5 市民の活動・交流を通して、新たな出会いを発見できる図書館 ー活動支援機能

○評価項目 ① 多目的な活動を支える場所の提供

自己評価	B
------	---

外部評価	
------	--

■各委員の評価

委員名	評価
	A
	B
	B
	B
	B
	B
	B
	B
	B

A：目標を完全に達成し、想定以上の成果があった。
 B：目標をおおむね達成し、想定どおりの成果があった。
 C：目標が達成できず、想定以下の成果であった。
 D：着手できなかった。

評価指標	取組の方向	R6年度目標	R6年度実績
ア：集会室の利用数	利用条件の整理	110	106
イ：図書館主催行事の開催数	イベント内容・対象の研究	26	26
ウ：学校との連携による受入れ数と研究発表場所の提供数	学校との連携を検討	18	25

○取組予定

集会室の利用は、第1集会室のみとなっているが、図書館関連ボランティア団体等が活用されるよう取り組む。

図書館主催行事は、PRに努め、イベント内容の工夫を行い開催する。

学校と連携した学習と研究成果を発表ができる場所の提供を行う。

図書館見学や職場体験などの受入れを行う。

○取組結果

- ・図書館関係団体への集会室の貸出、おはなし会の開催により概ね目標値に近づけることができた。
- ・学校と連携した学習と研究発表場所の提供については、小学校からの申し出により、児童コーナーの掲示板を使用し実施した。また、図書館見学や職場体験などの受入も積極的に行った。

○成果と課題

- ・集会室の利用の在り方や利用条件等についての整理が必要である。
- ・おはなし会の開催においても、今まで参加されたことのない市民の来館につながるようPR等に工夫を凝らすとともに、リピーターの確保にも努める。
- ・ウ：学校との連携による受け入れや研究発表場所の提供については、引き続き、学校と協議の上で対応していきたい。

■図書館協議会からの意見

- ・市民の活発な活動・交流の場となるような行事をさらに企画していただきたいと思います。

- ・ 2 室ある集会室のうち使用可は 1 室のみ。少人数の会議など小さなスペースでも活動できる。是非、2 室の確保を。
- ・ R6 も図書館見学の受入を積極的にしていただき、ありがとうございました。
- ・ 今年 1 月に文庫連で元朝日新聞の記者で能美舎 堀江昌史さんの講演会をしましたが、図書館にチラシがなくなったままになっていたり、PR についても、もう少し積極的にサポートしていただいたら、参加者もっと増えたのではないかと残念に思いました。図書館が後援している事業については、チラシを目立つところに置くや、カウンターで興味のある方に声をかけるなどしていただけると、イベントの参加者も増えると思う。

基本方針 5 市民の活動・交流を通して、新たな出会いを発見できる図書館 ー活動支援機能

○評価項目 ② 図書館に関わる各ボランティア団体との連携と協力

自己評価	B
------	---

外部評価	
------	--

■各委員の評価

委員名	評価
	B
	B
	B
	B
	B
	B
	B
	B
	B
	B

A：目標を完全に達成し、想定以上の成果があった。
 B：目標をおおむね達成し、想定どおりの成果があった。
 C：目標が達成できず、想定以下の成果であった。
 D：着手できなかった。

評価指標	取組の方向	R6年度目標	R6年度実績
ア：ボランティア団体との連携回数	各団体との意見交換の実施	5	6
イ：図書館ボランティア参加人数(延べ人数)	各団体の活動紹介に協力	100	121
ウ：地域文庫数	新規立ち上げ、継続活動への支援	13	12

○取組予定

館内掲示や広報ひこね・ホームページの掲載等により、各団体の活動について広く市民にPRする。

○取組結果

- ・ボランティア団体とは、おはなし会だけでなく、今後とも様々な分野において連携を図っていききたい。
- ・地域文庫連絡会に対し、図書の貸出や支援などを行った。
- ・年間を通じて、各種おはなし会を計画的に開催していただくことができた。

○成果と課題

- ・ボランティア団体との連携を図りながら、図書館サービスの提供に努める。
- ・引き続き、地域文庫の活動を支援し、読書活動の推進を図っていく。
- ・各文庫が活動いただくことで、地域の読書活動の推進に繋がっている。

■図書館協議会からの意見

- ・ボランティア団体の活動を求めているところと、ボランティア団体を結びつける機能は図書館にあるのかなと思いました。
- ・ボランティアの育成への取組みを！
- ・館内掲示の場所をできるだけ玄関側に確保してください。
- ・目標に達していない指標もありますが、おおむね順調に推移しているのではないかと思います。
- ・地域文庫のサポートありがとうございます。